

学校自己評価(2) 学校評議員等

領域	短期経営目標	具体的方策	学校関係者評価	学校関係者評価を踏まえた次年度の方策等	
確かな学力の定着と向上	・研究、研修の充実	・「週ごとの指導計画」に指導のねらい、指導内容を明記して、計画的に工夫した指導を行う。			
	・計画に基づいた指導	・1単位時間(45分)の授業時間をしっかりと確保し、授業時数の確保を行う。	学校によっては、放課後学習をしているが春日ではやらないのか	今のところは、予算や人員の問題があり、実施は難しい。普段の授業の中で確かな学力の定着と向上を図る。	
	・基礎的、基本的な学習内容の定着	・算数科で、習熟別学習(3～6年)・TT指導(1・2年)を行い、算数科の授業の充実を図る。	夏休みの補充教室の辞退願いの電話があったという意見があったがどういことか。希望者は多いのか。子供が行きたいと思っていることもあるが、親が「せっかくやっているなら行け」という思いで申し込んでいるのではないか。	人数が多いと本当に必要な子に目が届かないため、必要のない子には辞退をお願いした。補充が必要な子だけに案内してしまうと、できないから呼ばれていると思われてしまうため、全体に案内をしている。	
		・朝学習『春日タイム』などを活用して、個に応じた指導の充実を図る。	先生方の自己評価。確かな学力の向上、朝学習について、前回も今回も評価が低め。具体的に朝学習でどのようなことをしているのか。	主に国語と算数の基礎学習(プリントやドリル)。宿題が滞っている子の確認を個別に行うなど。字何度も児童に実態に応じてクラスや学年で行う。	
	・探究的な学習活動の実施	・総合的な学習の時間・生活科で探求的な学習を行う。	夏休みは今後もサマースクールではなく、補充教室か。	ゲストティーチャーを呼ぶようなものは、普段の授業の中で行っている。次年度も継続する。	
	・学習習慣の確立	・学習の基礎となる「規律ある学習習慣」を確立する。	授業の約束というものは何か。「そう思う」が低い。「わからない」もいる。具体的にどういことか。		4月当初の全体保護者会で授業以外も含めた約束のプリントを配布している。春日の1日のきまり、持ち物なども丁寧に書いてある。毎年配っているが、配布資料が多いため、保護者に浸透していないのではないかと。教室にも掲示している。指導・啓発を継続的にやっていく。
		・自己申告時の授業を公開する。			
健やかな心と体の育成	・心の教育の推進	・基本的な生活習慣を確立させる。	先生が良くない子と決めつけ、との記述があるが、これは子供のイメージか？親が言われたのか。	担任が決めてくれていることはないが、親が否定されたように受け取ってしまった。できていないことはやってほしいため、「指摘」をしたが、うまく受け取ってもらえなかった。指導の方針を「指摘しない」と変えた。	
		・あいさつができるようにする。			
		・年間指導計画に基づき、週1時間の道徳の授業を充実させる。			
		・児童アンケートを実施して、児童の実態把握に努め、「いじめ」「不登校」「体罰」がないようにする。			
	・特別支援教育の充実	・配慮を要する児童の実態を把握し、一人一人の教育ニーズに応じた指導を行う。	良い環境で勉強できるのが基本だからよくできているのが良い。暑い寒いに関する言及があったが、人によって体感が違うため、意見に沿うのは難しい	体育館にもエアコンが入り、過ごしやすくなった。熱中症計もあるため、体育や水泳の中止も視野に入れ、安全第一で行っている。	
	・体力の向上	・新体力テストの結果を活用して、体育授業を改善、充実させる。			
	・オリンピック・パラリンピック教育の推進	・オリンピック・パラリンピック教育推進のための取組を各教科で実施する。			
・保健指導 安全教育	・学校安全計画に基づき、危険なことや事故から自分を守る力を育てる。	人間関係について狭いというが、逆に知らない人ともゲームを通じて交流してしまっている。知らない人と通信対戦をしている。会いにいければ困る。ゲームとSNSが一体している。親の目を盗んでやっている。なりたいたい職業もyoutuberが増えている。親が忙しいと、子供は寝たふりをしてこっそりやっている。親としては、渡しておけば手がかからないため案。	親や先生も理解が不十分でついていけない、止められない状況。社会問題にもなっている。学校では、学年の発達に応じてセーフティ教室で毎年指導している。SNSルールも配っている。指導・啓発を継続的にやっていく。		
	・食育の推進	・給食指導等で、よい食習慣を身に付け、食の大切さを理解させる。	防災面で、親子の避難訓練があった。どのように行って、避難拠点としての課題や成果がわかれば。将来的には泊も考えたい。	炊き出し(カレー)パケツリレーなどを行った。小さい子供もいて実践的でよかった。継続するために今後も楽しく、学校行事ではないが、できる限りで協力をする。	
地域・保護者との連携	・保護者、地域の力を活かした教育活動の推進	保護者の要求が高い。学校に求めることが細かく、深くなっている。家庭でやるべきことも学校にやってもらいたいといっている。どうすれば親もボーダーラインを認識できるか。自分たちの時代と今の子どもたちの時代は違うことを保護者に理解させていかなければならない。 電子化について。ホームページに載せられる範囲は載せて、個人情報紙で配るで良いのではないかと。 学校とPTAの在り方。どのくらい学校に入り込んでよいのか。今は、PTAだけで進めて教員に報告として言っているが、もう少し教員にも話し合いに参加してもらっても良いのではないかと。 保護者会にも、関わりたくないから来ないのであればさみしい。子供のことや先生への話をきくために保護者会に行くべきだと思う。	当たり前、これくらいわかる、と思わず、保護者会等で丁寧に説明していく。 緊急連絡メールもあるが、登録していない人も。そういう人には電話。年末からネット回線もダメになっている。HPでできるものとできないものがある。紙媒体でなければならないものもある。 現状に問題は感じていない。学校に沿わない意見がないから、今は任せとまっている。定期的に学校からの代表が必要ならば、PTAから積極的に言ってもらえば用意する。 4月の保護者会には役員を決めるためのものではない。学校や学級を運営するために大切な場である。役員決め方などはPTAの役員会等で検討してほしい。校長が学校の代表として、役員を決める場に必要だったら出席する。		